話す・聞くの ことばを わけよう④

体の ぶぶんの きまりを 使おう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

(1)〜(7)の 意味を 読んで、「きまりの 箱」の ア・イ・ウから 1つ えらび、右の □に 書こう。

話す はなしは ア、聞く はなしは イ、どちらでも ない はなしは ウ。

ことばの はじめの 字（体の ぶぶん）だけで 決めると、まちがう ことが あります。

きまりの 箱	ア 話す・ことばを つたえる はなし イ 聞く・聞きとる はなし ウ どちらでも ない はなし

れい

舌(した)を 出す ＝ しっぱいした ときや、からかう ときに する しぐさ

きまりは？ **ウ**

つぎの ことばは、ア・イ・ウの どれかな？

(1) **耳に 残(のこ)る** ＝ 聞いた 音や ことばが、いつまでも わすれられない □

(2) **歯に 衣着(きぬ)せぬ** ＝ えんりょ しないで、思った ことを ずけずけ 言う □

(3) **耳目を 集める** ＝ 多くの 人の 関心(かんしん)や 注目を あつめる □

(4) **耳を ふさぐ** ＝ 聞きたく ないので、聞く ことを ことわる □

(5) **口を 糊(のり)する** ＝ やっとの ことで くらしを 立てる □

(6) **口裏(うら)を 合わせる** ＝ 前もって そうだんして、言う ことを そろえる □

(7) **耳朶(じだ)に 触(ふ)れる** ＝ ふと 耳に 入って、聞き知る □

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

話す・聞くの ことばを わけよう④【こたえ】

体の ぶぶんの きまりを 使おう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

まるつけ　歯に 衣着(きぬ)せぬ・口裏(うら)を 合わせるは 話す（ア）、耳に 残(のこ)る・耳を ふさぐ・耳朶(じだ)に ふれるは 聞く（イ）。
耳目を あつめる・口を 糊(のり)するは、体の ぶぶんが 耳・口でも 聞く・話すの はなしでは ない（ウ）。

きまりの 箱

ア　話す・ことばを つたえる はなし
イ　聞く・聞きとる はなし
ウ　どちらでも ない はなし

れい

舌(した)を 出す ＝ しっぱいした ときや、からかう ときに する しぐさ
しぐさの はなしで、話す・聞くでは ない

きまりは？ **ウ**

つぎの ことばは、ア・イ・ウの どれかな？

(1) **耳に 残(のこ)る** ＝ 聞いた 音や ことばが、いつまでも わすれられない
聞いた ことが 心に のこる はなし　**イ**

(2) **歯に 衣着(きぬ)せぬ** ＝ えんりょ しないで、思った ことを ずけずけ 言う
えんりょ なく 言う はなし　**ア**

(3) **耳目を 集める** ＝ 多くの 人の 関心(かんしん)や 注目を あつめる
みんなの 注目を あつめる はなしで、聞く はなしでは ない　**ウ**

(4) **耳を ふさぐ** ＝ 聞きたく ないので、聞く ことを ことわる
聞く ことを ことわる はなし　**イ**

(5) **口を 糊(のり)する** ＝ やっとの ことで くらしを 立てる
くらしを 立てる はなしで、話す はなしでは ない　**ウ**

(6) **口裏(うら)を 合わせる** ＝ 前もって そうだんして、言う ことを そろえる
言う ことを そろえる はなし　**ア**

(7) **耳朶(じだ)に 触(ふ)れる** ＝ ふと 耳に 入って、聞き知る
ふと 聞いて 知る はなし　**イ**